



働き続ける人になる

岐阜特別支援学校 進路だより 令和5年7月

小学部の進路学習

小学部では、少しでも自分でできることを増やせるように、個々の実態に即して、様々な指導や活動を行っています。特に6年生は6月に「なかよし合宿をしよう」という学習の中で宿泊棟で一泊しました。身の回りのことを、自分で行うことをねらいに、布団を敷いたり、お風呂で自分の体を洗ったり、掃除をしたり、ご飯を買いに行ったりしました。当日、どの子どもも今まで練習してきた成果を生かして取り組むことができました。お家を離れて学校に宿泊しましたが、マナーや約束を守り、友だちと楽しく合宿に参加することができました。



中学部の進路学習

中学部では、将来につながる学習として、週3日午前中に作業学習を実施しています。6月中旬には1年生が合流し、4つの作業班に分かれて3学年で力を合わせて作業に取り組んでいます。

作業学習の他にも、畑での野菜の栽培を通して、自分でできることを増やしたり、仲間とともに働いたりする経験を積んでいます。畑の石拾いから始まり、畝づくり、野菜の苗植え、草引き、水やりなどを経験しましたが、その苦勞を思い出しながら収穫の喜びを体感してくれたらと願っています。

これらのような学習を通して、自分が頑張ったことや感じたことを「キャリアパスポート」として記録に残しています。キャリアパスポートを見て自分の活動を振り返ることで、将来について考えたり、将来への願いをもったりすることに活用していくことを目指しています。



高等部の進路学習

高等部では、1年間に2回、就業体験を行っています。1年生では、校内で働くための基本的な態度を身に付け、2、3年生になると、福祉事業所や一般企業での実習を積み、就労のチャンスをつかみ取っていきます。毎日元気に出勤できる、気持ちのよいあいさつができる、個に応じた方法でコミュニケーションが取れる、落ち着いて作業に取り組むことができる、仲間と一緒に仕事ができることなどが大切です。配付されている「進路のしおり」を参考に、お子様の高等部卒業後の働く姿のイメージをもって、できることから少しずつ取り組んでみてください。

<校内実習>

ダイソーで売られている
紙袋作り



<校外実習>

スーパーでの商品
の袋詰め・品出し

